貸　借　対　照　表

令和 7年 3月31日

（単位　円）

資産の部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　　減
固定資産	**9,114,563,799**	**9,308,155,818**	**△ 193,592,019**
有形固定資産	**5,160,080,457**	**5,355,446,600**	**△ 195,366,143**
土地	1,557,695,137	1,557,695,137	0
建物	2,576,642,011	2,731,281,012	△ 154,639,001
構築物	281,319,318	294,769,759	△ 13,450,441
教育研究用機器備品	217,698,892	248,758,242	△ 31,059,350
管理用機器備品	14,716,493	15,032,096	△ 315,603
図書	505,834,366	499,229,593	6,604,773
車両	6,174,240	8,680,761	△ 2,506,521
その他の固定資産	**3,954,483,342**	**3,952,709,218**	**1,774,124**
電話加入権	2,314,899	2,314,899	0
教育研究用ソフトウェア	3,640,099	2,325,599	1,314,500
管理用ソフトウェア	8	8	0
有価証券	3,347,784,946	3,347,325,322	459,624
定期預金	600,000,000	600,000,000	0
敷金	582,000	582,000	0
預託金	161,390	161,390	0
流動資産	**4,076,763,393**	**3,992,534,162**	**84,229,231**
現金預金	3,892,817,545	3,867,904,467	24,913,078
未収入金	160,276,052	105,299,665	54,976,387
貯蔵品	7,521,218	5,803,154	1,718,064
販売用品	1,562,131	1,447,530	114,601
前払金	12,486,447	12,079,346	407,101
仮払金	2,100,000	0	2,100,000
資産の部合計	**13,191,327,192**	**13,300,689,980**	**△ 109,362,788**

負債の部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　　減
固定負債	**290,752,949**	**337,072,845**	**△ 46,319,896**
長期借入金	0	50,000,000	△ 50,000,000
退職給与引当金	290,752,949	287,072,845	3,680,104
流動負債	**463,649,037**	**514,741,243**	**△ 51,092,206**
短期借入金	50,000,000	50,000,000	0
未払金	78,664,651	182,178,161	△ 103,513,510
前受金	283,648,865	234,303,417	49,345,448
預り金	51,335,521	48,259,665	3,075,856
負債の部合計	**754,401,986**	**851,814,088**	**△ 97,412,102**
純資産の部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　　減
基本金	**13,319,576,460**	**13,203,498,039**	**116,078,421**
第１号基本金	13,110,576,460	13,031,498,039	79,078,421
第４号基本金	209,000,000	172,000,000	37,000,000
繰越収支差額	**△ 882,651,254**	**△ 754,622,147**	**△ 128,029,107**
翌年度繰越収支差額	△ 882,651,254	△ 754,622,147	△ 128,029,107
純資産の部合計	**12,436,925,206**	**12,448,875,892**	**△ 11,950,686**
負債及び純資産の部合計	**13,191,327,192**	**13,300,689,980**	**△ 109,362,788**

注記

１．重要な会計方針

（１）引当金の計上基準

① 徴収不能引当金

金銭債権の徴収不能に備えるため,一般債権については徴収不能実績率等により,徴収不能懸念債権については個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

② 退職給与引当金

退職金の支給に備えるため,次のとおり退職給与引当金の額を算定している。

イ．財団法人私立大学退職金財団加入者については，期末要支給額 142,877,500 円の 100%を基にして，同財団に対する掛金の累積額と交付金の累計額との繰入調整額を加減した金額を計上している。

ロ．財団法人宮崎県私学振興会加入者については，期末要支給額 628,376,000 円から同財団からの交付金相当額を控除した額の 100%を計上している。

（２）その他の重要な会計方針

① 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法は移動平均法に基づく原価法である。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法に基づく原価法である。

２．重要な会計方針の変更等　　なし

３．減価償却額の累計額の合計額　　7,927,197,849 円

４．徴収不能引当金の合計額　　6,675,927 円

５．担保に供されている資産の種類及び額

担保に供されている資産の種類及び額は，次のとおりである。

土地　　516,172,062 円

６．翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

1,830,120 円

７．当該会計年度の末日において第４号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策

第４号基本金に相当する資金を有しており，該当しない。

８．その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

（１）有価証券の時価情報

①　総括表

（単位　円）

	当年度（令和７年３月31日）		
	貸借対照表計上額	時　価	差　額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	503,036,000	508,474,500	5,438,500
（うち満期保有目的の債券）	500,000,000	504,300,000	4,300,000
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	2,844,748,946	2,579,020,000	△264,858,946
（うち満期保有目的の債券）	2,793,938,946	2,531,170,000	△262,768,946
合　　計	3,347,784,946	3,087,494,500	△260,290,446
（うち満期保有目的の債券）	3,293,938,946	3,035,470,000	△258,468,946
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	3,347,784,946		

②　明細表

（単位　円）

種　　類	当年度（令和７年３月31日）		
	貸借対照表計上額	時　価	差　額
債券	3,293,938,946	3,035,470,000	△258,468,946
株式	3,036,000	4,174,000	1,138,500
投資信託	50,810,000	47,850,000	△2,960,000
合　　計	3,347,784,946	3,087,494,500	△260,290,446
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	3,347,784,946		

（２）デリバティブ取引

デリバティブ取引について注記対象となる取引はない。

なお、デリバティブが組込まれている仕組債については、８．（1）有価証券の時価情報に含めている。

以上